

法人理念		私たちはインクルーシブな社会の構築を目指します		
支援方針		・児童の発達状況に合わせた活動設定をする ・実際の社会を意識した環境設定をする ・自己決定を最大限に引き出していく ・卒業後に向け、自立を目指し、利用者主体の支援を重視する。 ・児童の興味関心を療育のベースにする ・身体能力を身につけられるようにする ・利用者主体の支援を重視する		
営業時間		学校がある日（月～金） 学校終了時間～17:30 学校休業日（月～金） 9：00～17:30 土曜日 9：00～17:30	送迎実施の有無	有
支援内容				
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握と対応 ・生活リズムを整える、食育、歯磨き指導など（健康増進）、掃除 ・制服から私服への着替え支援、身だしなみを整える、手洗い、排泄、食事など（基本的生活のスキル） ・環境調整、個別に合わせた視覚的支援など		
	運動・感覚	・散歩や公園散策、ゴミ拾い ・季節に合わせた製作活動、個別に合わせた自立課題 ・その他、姿勢の保持、行事に合わせた運動 ・感覚の特性に対する環境調整		
	認知・行動	・曜日や時間の概念の習得、一日のタイムテーブルによる時間の認知形成（時間の概念） ・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成 ・小集団ゲームでの適切な行動形成 ・行動障害の予防及び適切行動への対応		
	言語 コミュニケーション	・本人の気持ちを代弁し他児とのやり取りの仲介、適切な言語の使い方等適切なコミュニケーション方法を身につける。 ・発語を増やす。 ・挨拶や感謝の言葉を言うようになる。ことばと経験を結びつける。 ・学習支援（学校の宿題の支援） ・写真や絵カードの活用、マカトンやジェスチャーを使用し相手に気持ちを伝える。気持ちや要求が伝わった時の楽しさを知ってもらう。 ・自己紹介、他者紹介（個別に合わせた方法）		
	人間関係 社会性	・外出活動、学童クラブの子どもたちとの交流活動の場の設定 ・スタッフや他児との関わりを通してやり取りを楽しむ ・相手との適切な距離や気持ちを知る。 ・集団活動を通して、他児との関わり方やルール、マナーを知る。 ・集団活動の中で役割（得点係、挨拶係等）を持ち活動に参加する。 ・本人に合わせた集団（小集団）の形成と遊びの提供 ・自己理解とコントロール ・社会資源の活用（公共施設での活動・社会見学・ルールの理解）		
地域支援・地域連携 （地域交流）		・学童クラブの子どもたちと交流する機会を設ける（クリスマス会、夏まつりへの参加など） ・土曜日や長期休みには地域施設を利用 ・相談支援事業所や他事業所等関係機関との連携 ・学校との面談や支援会議への出席		
移行支援		・地域の施設（公園や図書館、体育館等）を利用した活動を行う。 ・地域のお店や他事業所等へ行き買い物、食事を行う。 ・ライフステージ移行時の情報提供や移行支援会議の開催。		
家族支援		・自宅送迎時やお迎えの時に、事業所での活動の様子を伝えたり自宅での様子を聞きながら情報を共有する。 ・希望があれば電話での相談対応や、自宅を訪問した際に話を聴き必要時にはアドバイスを行う。 ・兄弟姉妹を含めた家族の困りごとやご本人の支援方法について相談に対応する。 ・保護者の就労やレスパイトのために時間外や延長支援を行う。		
職員の質の向上		・各種研修受講（強度行動障害者支援者養成研修、発達障害支援者育成研修、発達支援研修等） ・事業所内研修（虐待防止研修、身体拘束等適正化研修、感染症・災害対応研修） ・他事業所見学 など		
主な行事等		・企業見学、ゴミ拾い、調理活動、家事体験 ・外出活動（買い物、地域施設の利用等） ・季節行事（夏祭り、クリスマス会等）		